



あゆみの手型

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

授業参観 パート4 あゆみ学級



6年生の信田芽衣さんと、3年生の齊藤紅愛さんと、横堀小学校が4年目の小野静枝先生の『あゆみ学級』。『あゆみ』オリジナルな勉強と、学年の教室での勉強があって、毎日大移動をしながらも、学習や生活面で、めきめき成長し続けています。



国語や算数は、小野先生や生活支援員の三浦理香先生と一緒に、基本マンツーマンで勉強を進めます。個別の指導では、細かいところまで丁寧に取り組んでいて、一つ一つの課題がクリアできるように、さまざまな教材の用意や教え方の工夫をしています。その勉強が好きになることが一番大切です。そのためにも、まずは『先生大好き』『友だち大好き』という心のベースができていて、とっても素敵でほほえましい学級です。



毎日、校長室や職員室、保健室に朝のあいさつに来てくれます。事務の相馬洋子先生や、校務員の伊藤美奈子さんとも、笑顔で元気なあいさつしてくれるので、先生方もあじわっています。

そして、紅愛さんは3年生と、芽衣さんは6年生と一緒に勉強する時間もあって、交流による勉強でも、いろんなことを学び、とっても楽しく勉強と向き合っています。

二人は、毎週月曜日の朝に全校の給食台に使うふきんをたんで配るお仕事もがんばってくれています。それから、芽衣さんは、子ども新聞をホールのコーナーにお届けしてくれます。連休前には、本の貸し出しキャンペーンの日に、手作りのしおりをプレゼントして、喜んでもらいました。全校のために、見えないところでも、しっかりと自分の役割を果たしています。



がっこう たんけん



小学校の春先の恒例行事である1、2年生の「がっこうたんけん」がありました。1年前に、学校の中を案内してもらった2年生が、今度は自分たちで考えて計画して、手をつなぎながら、自信満々で1年生に学校のことを教えてくれました。



音楽室や図書室等の特別や部屋では、一緒に遊びながら、使い方を教えてくれました。校長室では、学年通信や全校みんなの顔写真を見たり、パソコンの中の仕事を紹介したりしました。「たんけん」が終わってからも、振り返りの会や、ゲーム等を通して、ますますなかよしになることができました。



「横堀小スタートカリキュラム」検討会



園と小学校では、スムーズなつながりを目指して、入学後の時間割や学習活動等の工夫を進めています。これを、「スタートカリキュラム」と呼んで、「育てたい姿」をはっきりさせて、2か月分の計画を立てて取り組んでいます。

今日は、みどり園の園長先生と担任の先生方4名が、「フラワー学年」として成長した1年生の授業を見に来てくれました。

みんなが元気に笑顔で学習していること。のびのびと自分の思いを表現できていることに安心しておられました。私からは、園での丁寧な指導と支援のおかげで、個々も集団も、とても素晴らしい“育ち”が見えることへの感謝をお伝えしました。このあとも、お互いに授業を参観したり、情報交換等をして、園の活動と子どもたちとの心の“つながり”を大切にしていきたいと考えています。



コロナに注意しながら 安全で 楽しい ゴールデンウィークを！

いつもの年なら、運動会で盛り上がり、気分最高で連休を迎えていました。今年は、昨年以上にコロナウィルス感染症が広がり、秋田県内、大仙保健所管内も“特別な警戒”が必要です。それでも、子どもたちとご家庭の皆様にとっては「特別に楽しい 家族の時間」になってほしいと願っています。